

2019年以降の世界マスターズ選手権 選手選考手順について

☆選考対象

国内試合のみ

- ① 開催前年度の全日本マスターズ選手権に**必ずエントリーすること（棄権してもかまわない。）**
- ② 開催前年度全日本マスターズ選手権の申し込み時に配布される《国際試合参加意向確認書》をエントリー**締め切りまでに提出し、参加表明**をすること

海外試合のみ

- ① 開催**前年度**の**全日本マスターズ選手権の締め切りまで**に開催県に上記《国際試合参加意向確認書》を送付すること（不参加の場合でも）

☆選考試合

I 国内試合

- ① 開催前年度の全日本マスターズ選手権
- ② 例外として開催年に35歳になる選手は、後述の救済試合②～⑥のどれかを選考試合に代えることができる。この場合、《国際試合参加意向確認書》は事務局への連絡時の提出で構わない。締め切りは後述の委員長推薦制度②の締め切りと同様とする。

II 海外試合

- ① 前年度開催の世界マスターズ選手権
- ② 開催前年度、もしくは開催年度の《世界マスターズ選手権》の締め切り前までに行われる《IWF マスターズが公認する試合》
- ③ 開催前年度、もしくは開催年度の《世界マスターズ選手権》の締め切り前までに行われるマスターズワールドカップなどそれに準ずる国際試合

これらのどれかで《参加標準記録》をクリアすること

↓ ×

↓ ○

クリアできなければ

クリアできれば

↓ ×

↓ ○

救済試合でクリアを目指すことになる。**Ⅲへ**

出場OK

III 救済試合

下記の救済試合でクリアすること（クリアした場合は事務局へ至急連絡すること）

- ① 開催前年度の近隣3都府県以上が参加するマスターズブロック大会
（国体ブロックに準ずるため、北海道は北海道マスターズ大会を1ブロックと見なす）
- ② 開催前年度の全日本選手権
- ③ 開催前年度の全日本女子選手権
- ④ 開催前年度の全日本社会人選手権
- ⑤ 開催前年度のレディースカップ
- ⑥ 開催前年度の国民体育大会（ブロック大会を含む）

これらのどれかで《参加標準記録》をクリアすること

↓ ×

↓ ○

クリアできなければ

クリアできれば

↓ ×

↓ ○

委員長推薦制度枠を利用して出場を目指すことになる。**Ⅳへ**

出場OK

☆世界マスターズ選手権 早見表☆

◎A群【選考試合】のどれかで参加標準記録をクリアを目指す!

A群	①開催前年度の全日本マスターズ選手権
	②例外として開催年に35歳になる選手は、B群の⑦～⑪を利用
	③前年度開催の世界マスターズ選手権
	④開催前年度、もしくは開催年度の《世界マスターズ選手権》の締め切り前までに行われる《IWFマスターズが公認する試合》
	⑤開催前年度、もしくは開催年度の《世界マスターズ選手権》の締め切り前までに行われるMWCに準ずるような国際試合



A群【選考試合】で参加標準記録をクリアできれば
世界マスターズエントリーOK!

残念ながらクリアできなければB群【救済試合】へ



B群	⑥開催前年度の近隣3都府県以上が参加するマスターズブロック大会(北海道のみ単独開催可)
	⑦開催前年度の全日本選手権
	⑧開催前年度の全日本女子選手権
	⑨開催前年度の全日本社会人選手権
	⑩開催前年度のレディースカップ
	⑪開催前年度の国民体育大会(ブロック大会を含む)



B群【救済試合】で参加標準記録をクリアできれば
世界マスターズエントリーOK!

残念ながらクリアできなければ委員長推薦枠へ



委員長 推薦枠	①永年、情熱をもってマスターズ競技に取り組み、世界の舞台に立ちたいという意欲のある選手を選考対象とする。
	②都道府県大会で《参加標準記録》をクリアし、所属都道府県会長またはそれに準ずる者の推薦状と《参加標準記録》のクリアを証明する試合の記録表を併せて事務局へ送付(できるだけ早く)すること。



委員長推薦枠で認められれば
世界マスターズエントリーOK!

残念ながら認められなければ来年再チャレンジしてください。

※ 注 意 【 選 考 対 象 】

◎ B群および委員長推薦枠を使う場合は必ず前年度の全日本マスターズにエントリーしなければなりません!

◎ A群②～⑤のみで目指す選手は前年度全日本マスターズの申し込み締切までに《国際試合参加意向確認書》を開催県へ送付することを忘れずに!